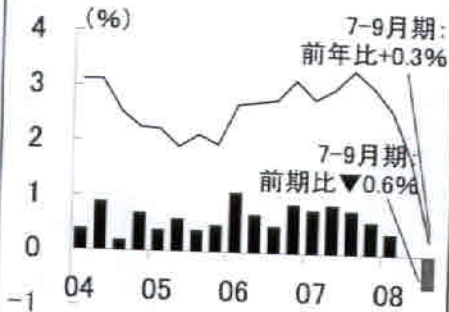


英国経済指標の推移(2009年1月)

①成長率

7-9月期の成長率は▼0.6%。
16年ぶりのマイナス成長に。



(資料)Office for National Statistics

②成長率(内訳)

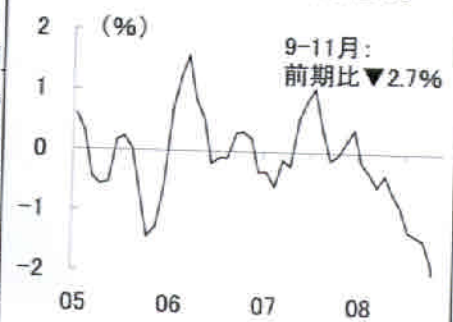
4-6月期は民間消費がマイナス。
純輸出も前期に続いて大きな落ち込み。

	(前期比寄与度: %ポイント)	
	08年4-6月期	08年7-9月期
GDP	+0.0%	▼0.6%
民間消費	▼0.2%	▼0.0%
民間投資	▼0.1%	▼0.5%
政府支出	+0.1%	+0.1%
在庫投資	▼0.1%	▼0.0%
純輸出	+0.2%	▼0.2%

(資料)Office for National Statistics

③鉱工業生産

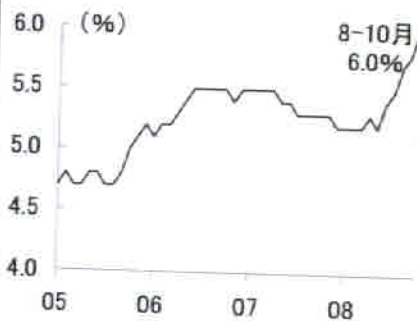
9-11月は前の期に比べて2.7%の減少。
製造業では前期比3.3%の落ち込み。



(資料)Office for National Statistics

④失業率(ILOベース)

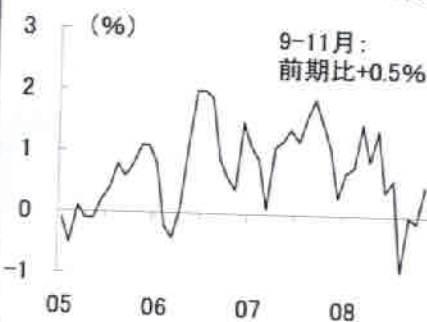
失業率は前月比0.2%ポイント高い6.0%。
9年3ヶ月ぶりの高い水準。



(資料)Office for National Statistics

⑤消費(小売数量)

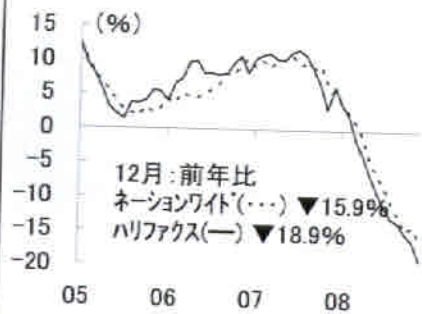
9-11月は前期比0.5%増加。
前の期(6-8月)から0.6%ポイント上昇。



(資料)Office for National Statistics

⑥住宅価格

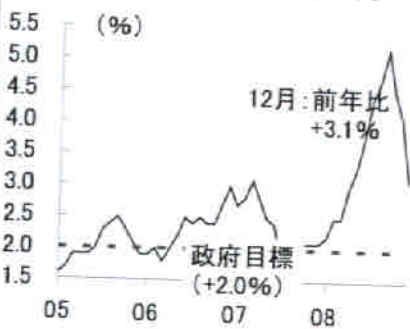
下落傾向が継続。
前月比では14ヶ月連続の下落(ネーション)。



(資料)Nationwide, HBOS

⑦インフレ率(CPI)

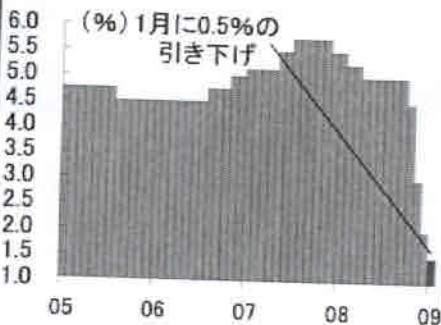
12月は11月より1.0ポイント低い3.1%。
4月以来、8ヶ月ぶりの水準に回帰。



(資料)Office for National Statistics

⑧政策金利(オフィシャル・バンク・レート)

4ヶ月連続の利下げ。
1.5%の政策金利は過去最低水準。



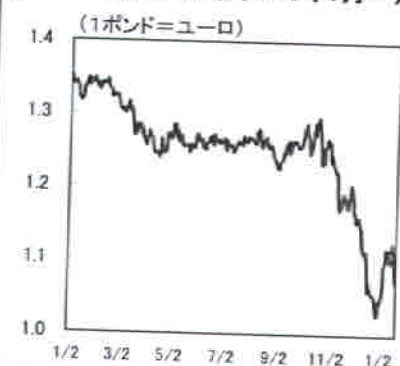
(資料)Bank of England

⑨成長率予測(2008-2009年)

08年の民間予測は0.8%で横ばい。
09年は0.6ポイントの大幅な下方修正。

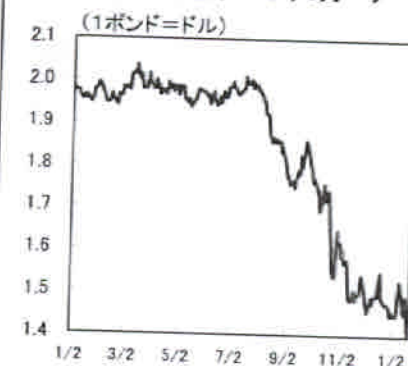
	2008年(2009年)	
民間平均	0.8% (▼1.7%)	12/08集計
OECD	0.8% (▼1.1%)	11/08公表
欧州委	0.9% (▼2.8%)	01/19公表
IMF	0.8% (▼1.3%)	11/08公表
政府	0.75%	11/08公表
	(▼1.25-▼0.75%)	

⑩ユーロ/ポンド相場(2008年1月~)



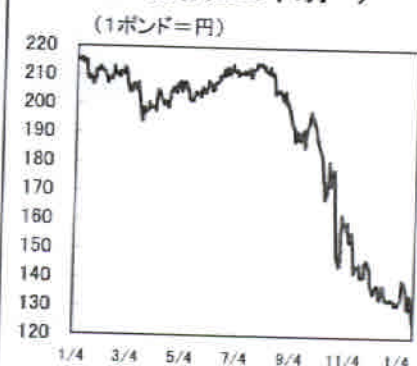
1月20日現在: 1ポンド=約1.07ユーロ
(資料)IMF

⑪ドル/ポンド相場(2008年1月~)



1月20日現在: 1ポンド=約1.38ドル
(資料)IMF

⑫円/ポンド相場(2008年1月~)



1月20日現在: 1ポンド=約125円
(資料)IMF

月例英国経済概況（2009年1月）

1. 現状

（1）全体観

- 2008年7-9月期のGDP成長率（3次速報値）は、季節調整済み前期比で▼0.6%となり、16年ぶりのマイナス成長となった（図①）。08年11月に公表された2次速報値から0.1%ポイントの下方修正。民間投資や純輸出が落ち込んだ。なお、1月19日、欧州委員会は、09年の英国GDP成長率を前回（2008年11月）よりも一層引き下げたマイナス2.8%と予想。
- イングランド銀行は1月8日、0.5%ポイントの利下げを実施（図⑧）。政策金利のオフィシャル・バンク・レートは過去最低水準の1.5%に引き下げられた。利下げは10月以降、4ヶ月連続。
- 金融機関を中心に始まった雇用削減の動きが他の産業にも広がり、9月の失業率は6.0%と9年3ヶ月ぶりの水準に上昇。

（2）企業活動

- 08年9-11月の鉱工業生産は前の期に比べ2.7%減少（図③）。製造業では同3.3%減少。

（3）雇用関連

- 9月の失業率（8-10月の3ヶ月平均）は前月比0.2%ポイント高い6.0%（図④）。

（4）家計消費・住宅価格

- 消費（小売数量、季節調整済）は9-11月平均で前期比0.5%と、微増（図⑤）。
- 住宅価格はネーションワイド指数、ハリファクス指数とも一段の下落（図⑥）。ネーションワイドが前年比▼15.9%、ハリファクスが▼18.9%と12月も2ケタ台の落ち込み。

（5）物価・金利

- 12月のCPI上昇率は、燃料や食料品価格の上昇が一巡したことを受け、10月に比べて1.0%ポイント低い前年比3.1%（図⑦）。

（6）為替

- 英国の景気減速に対する懸念が強まり、ポンドは10月半ば以降、主要通貨に対して下落（図⑩、⑪、⑫）。金融危機への懸念が再燃したことなどから、ここ数日で再び下落傾向。

2. 今後

（1）メインシナリオ

- 2009年のマイナス成長は、ほぼ確実。大手金融機関の破綻や再編の動きは、雇用調整を伴うことから、金融・サービス業がけん引役の英国経済に打撃。さらなる信用収縮と住宅価格の下落は、消費マインドや投資マインドを一段と悪化させる。

（2）リスクシナリオ

- 金融市場の混乱次第では、景気後退（リセッション）が長期化する可能性。